

平成22年度第2回入札監視委員会議事概要

		平成22年10月20日(水) 海上保安庁海洋情報部会議室																	
委 員		委 員 長	平 野 廣 和 ;中央大学総合政策学部教授																
		委 員	杉 本 洋 文 ;東海大学工学部教授																
		委 員	伊 藤 文 夫 ;弁護士																
抽出案件		<備考>																	
<table border="1"> <tr> <td>工事(小計)</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td> 一般競争</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td> 公募型及び工事希望型指名競争</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td> 指名競争</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td> 随意契約</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>建設コンサルタント業務等</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>物品又は役務等</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5件</td> </tr> </table>		工事(小計)	2件	一般競争	2件	公募型及び工事希望型指名競争	-	指名競争	-	随意契約	-	建設コンサルタント業務等	1件	物品又は役務等	2件	合 計	5件	委員会開催にあたり 委員長に平野 廣和 委員 を選任した。	
工事(小計)	2件																		
一般競争	2件																		
公募型及び工事希望型指名競争	-																		
指名競争	-																		
随意契約	-																		
建設コンサルタント業務等	1件																		
物品又は役務等	2件																		
合 計	5件																		
抽出理由等に対する説明		別添のとおり																	
		意見・質問	回 答																
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等		別紙のとおり	別紙のとおり																
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし																	

委 員	海 上 保 安 庁
<p>1. 入札・契約手続の運用状況及び指名停止運用状況並びに入札結果等 (質問等なし)</p>	
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p>①函館海上保安部航路標識保守業務ほか7件 <役務；一般競争契約></p> <p> 応札業者が殆ど同じですね。</p> <p> 参考見積は取りましたか。</p> <p> 民間委託より職員がやった方が安いのでは。</p> <p> この保守業務は落札業者しか出来ないのですか。</p> <p> 今後も新規参入を増やすような努力をして頂きたいと思います。</p>	<p> 前年度の契約よりも点検者の要件を緩和し、また、入札参加資格等級も拡大して入札参加者の拡大を図ったところ、前年度2者から3者となりました。</p> <p> 取っていません。積算基準で積算しています。</p> <p> 平成17年度に試行として2箇所の保安部を民間委託し比較しましたが、民間委託の方が安くなりました。</p> <p> 当庁全体では、落札はしていませんが、全部で10社ほど入札に参加しています。</p>
<p>②先山受信所通信用鉄塔等整備工事 土佐山受信所他1箇所通信用鉄塔整備工事 <工事；一般競争契約></p> <p> 一括発注的なことをすれば、資機材の大量同時期購入により、これだけ安くなるという一つの事例ですよ。</p> <p> 一位代価表に「市価」と記載がありますが。</p> <p> 低入札の場合は、次回以降のためにも業務内容を確認したほうが良い。</p> <p> 設計金額の中で、ある項目だけが極端に安くなっているところがありましたか。</p>	<p> 同種の関連会社から見積りを取り、その最低価格を市価としました。</p> <p> 落札業者の主力業務である、ボルト交換や補強材の交換は非常に安くなっていました。</p>

<p>同時期、同一な業務、距離もさほど離れていない様な一括発注が出来るようなものがあればコストダウンも図れると思いますので検討して頂きたい。</p>	
<p>③長瀬灯浮標ほか2基交換工事 地ノ島北西灯浮標ほか2基交換工事 <工事;一般競争契約></p> <p>交換の年間計画が分かっているのであれば、一括発注などにより効率よく出来ないか。</p> <p>それをもう少し細かく出来ないでしょうか。1件で数千円、数万円でも積み重なると大きな金額になります。</p> <p>オペレーションリサーチという言葉があります。現状で良いとせず、ちょっとした知恵を加えることが大事です。</p> <p>灯浮標は何基ありますか。</p> <p>交換の周期4年を5年に延ばすなど出来ないのでしょうか。</p> <p>マネージメントを考えて頂き、少しでも安くなるよう工夫して頂きたい。</p>	<p>同じ海域は同じ時期に交換するよう計画しています。</p> <p>現在、七管区に灯浮標の基地は関門と佐世保にあります。交換工事は天候に左右されることが多く、1年中交換が可能な海域もあれば、春から夏場までしか出来ない海域もあります。運搬コスト等も考慮しています。</p> <p>261基あり、4年周期で毎年65基程度を交換しています。引き揚げた標体はすぐ整備して、また使用します。年3回のサイクルで計画しており、あまり在庫を持たないようにしています。</p> <p>5年持つかは分かりませんが、4年持つように計算しています。</p> <p>2年周期から4年周期に変えて5年経過したところであり、引き揚げたチェーンの磨耗状況を現在見えています。4年を5年にするかなどはこれからの検討となります。</p>

<p>④関門航路早瀬瀬戸における船舶航行安全対策検討業務 <建設コンサルタント；一般競争契約></p> <p>新たにこのような業務を発注したのでしょうか。護衛艦くらまと韓国船の事故とかを契機に発注する事となったのでしょうか。</p> <p>この仕様書の内容で、一般のコンサルが十分理解できるのでしょうか。専門業者ならこの程度の仕様書の内容で分かるのでしょうか。</p> <p>業務をシミュレーションの実施と委員会の2つに分ければ良いのではないのでしょうか。</p>	<p>本年7月に改正港則法が施行されたところであるが、関門海峡における海難の発生状況に鑑み、次なるステップとして更なる安全対策を検討するために新たに発注したものです。くらまの事故についても、一つの動機づけにはなっています。</p> <p>仕様書の内容について、今後は改善していきたいと思います。</p>
<p>⑤谷山2区第3突堤北側船艇基地で使用する電気 <物品；一般競争契約></p> <p>一括購入など更なる改善方策が検討できないか。</p> <p>民間ですと量によって価格交渉が出来ます。個別ではたいした量ではないかもしれませんが、海上保安庁全体で見れば相当な量になりますので、例えば全体で0.5%引いてくださいというような交渉・契約方法もできるのではないかと思います。どれくらいまとめると価格交渉の余地がでてくるのか調べておくことは有効かもしれません。</p>	<p>各巡視船にキュービクルを設置しており、これをまとめて契約してはどうかという議論もあります。</p> <p>調査してみましたが、「需給場所につき、1供給電気方式、1引込み及び1計量をもって供給とする。」となっておりますので、それぞれで契約としております。</p> <p>取りまとめた入札を実施することについては、今後十分な検討が必要と思慮します。</p>
<p>審議のまとめ</p> <p>総括ですが、入札・契約手続きに関しては概ね適正に行われていたと判断しております。</p>	

抽出理由等に対する説明

抽出契約件名 函館海上保安部航路標識保守業務

抽出理由

- ・ 入札参加者が少ない。
- ・ 契約率が平均98%と高止まりしている。この理由は何処にあるのか。

事 項	説 明 等	
入札参加者	3者	<p>(入札参加者が3者となった理由)</p> <p>本件契約においては、前年度の契約よりも点検者の要件を緩和し、また、入札参加資格等級をA～Dに拡大して入札参加者の拡大を図ったところ、入札参加者は前年度2者から3者となった。</p> <p>3者に止まった理由としては、航路標識が広範囲(離島を含む)に点在すること、冬季の厳しい気象条件などから敬遠されたものと考えられる。</p>
落札率	99.37%	<p>(高落札となった理由)</p> <p>本件契約の請負業者は、昨年度、他の地域で同様の保守業務を請負っていることから、保守する標識基数、点検周期などを考慮し、昨年契約実績を参考として算定したことによるものと推定される。</p>
予定価格の算定の考え方	<p>予定価格の算定に当たっては、積算基準を基本とし、材料価格や工事単価については、価格算定図書(建設物価、物価資料)や旅費法等を参考とした。</p>	
市場調査の状況	<p>保守業務の民間委託を実施した箇所において、請負業者等へ保守の実態等の市場調査(工数、労務単価、諸経費等調査)を行い、集積された意見等を下に本庁が全管区分をまとめあげ、仕様・基準等の改善に反映している。</p>	
競争性を確保するための方策	<p>建築士資格を有する技術者が行う専門的な施設点検及び電波法等で定める点検技術者が行う専門的な機器点検を取り止め、点検者の資格要件を緩和した。</p> <p>また、入札参加資格等級をA～Dに拡大して公告を行った。</p>	
今後の対応	<p>今回の入札結果を踏まえて、今後は資格要件及び業務経歴の更なる緩和、1件の契約で対象とする航路標識のエリアの見直し、離島におけるスポット契約の導入の是非について検討するとともに、個々の航路標識の修繕・改修工事の施工実績のある地元業者に対して保守業務への入札参加を要請することとする。</p>	

抽出理由等に対する説明

- 抽出契約件名 ① 先山受信所通信用鉄塔等整備工事
 ② 土佐山受信所他1箇所通信用鉄塔整備工事

抽出理由

- ・ 契約率が60%を切る状況。
- ・ 同一業者が落札している。(土佐山受信所他1箇所通信用鉄塔整備工事と同じ)

事 項	説 明 等	
入札参加者	① 9者 ② 5者	<p>(同一業者が落札した理由)</p> <p>落札した業者は、四国電力グループの系列会社で鉄塔・電力工事の最大手であり、今回の案件と同種工事を多く手がけている。主に四国地方を中心に配下の事業所が多数あり、先山受信所は徳島建設所が担当、土佐山受信所等については高知建設所がそれぞれ担当して施工することが可能であるため、2件の入札に参入したものの、今回の2箇所の現場間の距離は、直線距離で約130kmと大きく離れていることから、1件の契約案件とした場合、応札できる業者が限られることが想定された。入札に際して、より多くの業者の参加を期待して2件の契約としたものであり、それぞれ9者、5者の参加があった。</p> <p>同一業者が落札したことについては、落札率の欄に記載のとおり、地理的条件、資材調達力に勝る業者が結果として2件とも落札したものと思量する。</p>
落札率	①55. 26% ②53. 72%	<p>(低落率となった理由)</p> <p>業者の工事内訳書の検討と聞き取りを実施したところ、大手の専門業者であり、多数の受注実績から資材の一括大量調達等を行い、仮設工事費、資材材料価格及び施工労務費の低減を実現したものであった。</p>
予定価格の算定の考え方	<p>予定価格の算定に当たっては、本工事が鉄塔構造に関係することから、事前に調査設計業務(コンサル)を外注し、材料・部材の確認や数量算出を実施した。使用する材料価格や工事単価については、価格算定図書(建設物価、物価資料、工事コスト情報等)や市場の価格(販売会社見積書の提出)を参考とした。また、数量の多寡等の確認を行なった。</p>	
市場調査の状況	<p>数社から工事費総額について、見積書を入手したほか、使用材料については、建設物価等の材料単価資料やネットによる価格検索、特殊な工事や部材については、工事会社や販売会社3社以上から見積書を入手した。</p>	
競争性を確保するための方策	<p>「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領について」の規定により「鋼構造物工事業」A等級に格付けされた者が参加資格を有することとなるが、同業種の工事は過去の実例から、参加業者が少数と見込まれたため、同取扱要領25条2項の規定に基づきB等級まで、また、通信用鉄塔の工事であることから「電気通信工事業」A及びB等級までそれぞれ範囲を広げ、入札公告を行った。</p>	
今後の対応	<p>今後も更なる競争性の確保を図るとともに、工事手法の検討、資材などの市場調査、他官庁における実績など、常日頃から情報収集を行い、適正な仕様及び予定価格の算定に反映させる。</p>	

抽出理由等に対する説明

- 抽出契約件名 ① 長瀬灯浮標ほか2基交換工事
 ② 地ノ島北西灯浮標ほか2基交換工事

抽出理由

- ・隣接県での発注物件である。
- ・入札参加業者がほぼ同じ会社である。
- ・一括発注などの発注の方法によっては、更なるコストダウンが計れる物件ではないか。

事 項	説 明 等	
入札参加者	① 6者 ② 6者	(入札参加業者がほぼ同じ会社である) これまでも当庁官船(設標船)が航行不可能な浅海域の浮標交換工事については、民間に発注していたことから、これらの工事を受注しノウハウを持っている北九州地域の港湾工事業者が約半分両方の工事に参加したため。 それ以外の者については、地元の業者が参加している。
落札率	① 94.14% ② 78.83%	長瀬灯浮標ほか2基交換工事については、これまでに当庁の交換工事を経験していること及び入札結果などを公開していることから工事規模を勘案して入札したため比較的高落札率となったと思われる。 地ノ島北西灯浮標ほか2基交換工事については、本工事の落札者によれば、長瀬灯浮標ほか2基交換工事の現場海域は今まで工事を行なったことがなく現場の状況が良く分からなかったため、契約後さらに経費が増えるかもしれないと考え、余分に経費を加えて計算を行なったため落札することが出来なかった。しかし、地ノ島北西灯浮標ほか2基交換工事については、現場海域を熟知しており、所有船舶も使用する予定がなく、長瀬灯浮標ほか2基交換工事で落札することが出来なかったため、どうしても落札したいとの思いで入札金額を安くしたとのことであった。
予定価格の算定の考え方	本工事の予定価格の算定に当たっては、港湾土木請負工事積算基準(国土交通省港湾局)等を基に、船舶燃料及び交換資機材の輸送費等の単価については、積算資料等の価格算定図書を参考とした。	
市場調査の状況	予定価格に反映させるため、作業船の基地港を設定するに当り、近隣の作業船を所有している業者を調査した。	
競争性を確保するための方策	本2件の工事は、「土木工事業」のC等級であるが、広く参加を求め競争性を確保するため、直近上位のB等級も含め、募集を行った。 また、掲示板、ホームページへの公告の掲載のほか、長瀬灯浮標ほか2基交換工事については、九建日報及び大分建設新聞社(共に建設情報誌)に、地ノ島北西灯浮標ほか2基交換工事については、九建日報に、公告を行なった旨連絡を行ない、掲載を依頼した。	
今後の対応	一括発注など発注方法については、発注工事及び参加業者数について、過去に民間に発注した浅海域の灯浮標交換工事や今後の契約の入札参加業者について分析を行なうとともに、今後の整備計画に照らし合わせ、隣接した海域で、同一発注が可能と判断されるものについては、取りまとめて発注することを検討する。	

抽出理由等に対する説明

抽出契約件名 関門航路早瀬瀬戸における船舶航行安全対策検討業務

抽出理由

- ・契約金額が大きい。
- ・入札参加社数が1社である。
- ・入札率が高い。

事 項	説 明 等	
入札参加者	1者	<p>(入札参加者が少数となった理由)</p> <p>本業務は、関門海峡における過去の船舶海難データ等をもとに、海難事例を分析・整理した上で、操船シミュレーションを実施して海難事例を検証し問題点の抽出や対応策の検討を行うとともに、委員会を開催のうえ海域利用者等の意見を聴取する等して、船舶航行の安全対策の検討結果を取りまとめるものである。</p> <p>このように、本業務は単なる技術調査のみならず、海事及び同海域の特性に関する専門的知見を必要とするものであり、長年、地方公共団体等との契約により、同海域において海難防止に関する調査研究等を実施するなど、多数の実績を有する入札参加者のほかに、定められた契約期間内に履行完了し得ると判断する者がいなかったものと思料される。</p> <p>入札参加者のほかに公告期間中に仕様書のみを受領した業者が1者あったが、同業者は、業務内容が多岐に亘ること、かつ、業務の難易度が高いと判断し入札参加の申込みを行なわなかったとのことである。</p>
落札率	94.23%	<p>(高落札率となった理由)</p> <p>本件業務の算定に当っては、一般に公表されている港湾土木請負工事積算基準等の資料を使用しており、入札者側においても同種資料等を使用していると推定されるが、本件については、第1回目の入札は予定価格を超えたため不調となり、第2回目の入札で落札したものである。</p>
予定価格の算定の考え方	<p>予定価格の算定に当っては、本業務が港湾事業に係る調査等業務に類似することから、港湾土木請負工事積算基準及び平成22年度設計業務委託等技術者単価を参考とした。</p>	
市場調査の状況	<p>見積書入手するとともに、物価版、インターネット・ホームページ等により価格調査を行った。</p>	
競争性を確保するための方策	<p>本案件は、「建設コンサルタント」のA等級に該当するが、業務の専門性等から参加者が少数になる可能性があることと判断したことから、広く参加を求め競争性を確保するため、「役務の提供等」まで分野の範囲を広げるとともに、それぞれにおいて全等級を対象とし、また、公告の期間も20日間確保し、入札公告の掲示板への掲示の他、インターネット・ホームページにも掲載を行い、広く募集を行なった。</p>	
今後の対応	<p>本案件は、以前に同様の発注を行なったことがなく、初めての案件で当たったため、次回同種の契約発注を行うにあたっては、業務内容の分割や仕様内容の詳細な記載について検討を行い、より多くの入札参加者が得られる環境を整える。</p>	

抽出理由等に対する説明

抽出契約件名 谷山2区第3突堤北側船艇基地で使用する電気

抽出理由

- ・契約率が高止まりしている。
- ・複数の電気需給契約をしているが、一括購入など更なる改善方策が検討できないか。

事 項	説 明 等	
入札参加者	2者	<p>(入札参加者が少数となった理由)</p> <p>鹿児島地区においての一般競争入札に参加する電力供給業者は、3者が一般的な業者となっているが、本調達案件については、入札参加者は2者であった。</p> <p>入札に参加しなかった業者に確認したところ、自社の発電施設からの距離及び使用電力量等を加味して営業判断で入札に参加しなかったと申し立てがあった。</p>
落札率	95.85%	<p>(高落札率となった理由)</p> <p>本調達案件の予定価格については、公開されている料金と入手した見積書を参考としているが、公開されている料金から大幅な値引きが無いことが解っているため高落札率になることは避けられないと考えられる。</p> <p>なお、落札率95.85%は、他の電気供給契約と比較して、決して高落札率であるとは言えない。</p>
予定価格の算定の考え方	<p>契約電力と年間見込使用電力量を示し見積書を徴収するとともに、公開されている契約種別毎の料金を参考とした。</p>	
市場調査の状況	<p>特定規模電気事業者からの参考見積書の入手及び公開されている料金表等を確認した。</p>	
競争性を確保するための方策	<p>「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領について(平成13年1月6日国官会第22号)」別表第一(第3条及び第4条関係)一般競争及び指名競争に参加する者の契約の種類に応じた予定価格の金額等と等級区分及び数値によると、「物品の製造」若しくは「物品の販売」のC等級に属する有資格者であるが、過去の実績等から同種案件の入札参加者として見込まれるのはA又はB等級であり、C等級だけでは参加者が見込めないため、上位の等級であるA、B等級を含めて公告した。</p>	
今後の対応	<p>本調達案件においては、九州電力(株)の定める特定規模需要標準供給条件に基づき、1需要場所1契約としてキュービクル毎に個別に契約を実施していた。</p> <p>応札した電力供給各社に対して、谷山地区のような五つの契約をとりまとめて入札を実施した場合に、参加可能か問い合わせたところ、電力各社は特に問題はないとの回答であった。</p> <p>本契約のように特定規模電気事業者独自の考えにより、キュービクル毎の参加の有無を判断する場合もあるため、取りまとめた入札を実施することについては今後十分な検討が必要と史料する。</p>	